

# おんじゆく

8

昭和63年 8月

第298号

千葉県御宿町役場



日本・メキシコ修好百周年記念事業で両国友好の原点御宿に寄港したマリガランテ号

平和  
使節船

# 「マリガランテ号」が寄港

日本・メキシコ修好100周年を記念  
御宿・アカプルコ姉妹都市10周年

新たな国際交流の幕開け  
地球人感覚で歓迎



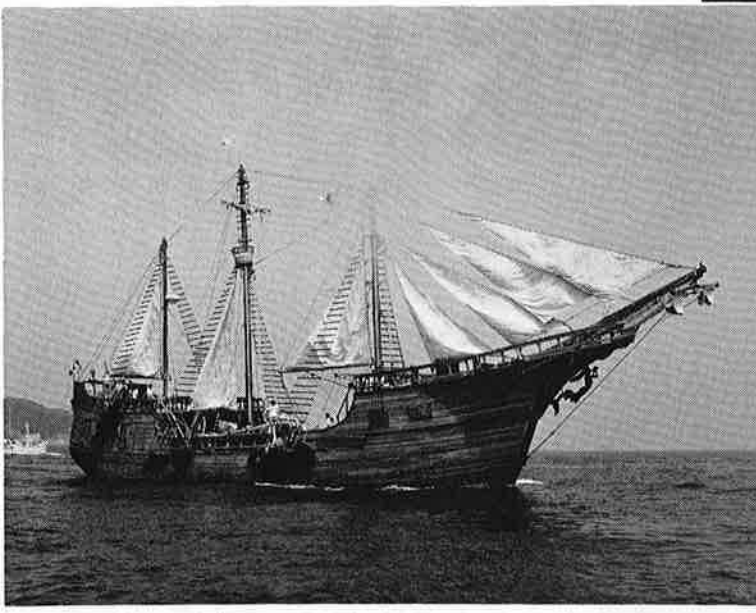
▲世界的な冒険家ビタル・アルサル船長と握手する  
滝口町長



▶ 歓迎する心に言葉はいらない  
気軽に身振り、手振りで歓談する

◀ 岸壁に整列した乗組員。国際色豊かな地球人クルー。





▲コロンブスがアメリカ大陸を発見した時の船サンタマリア号を復元した「マリガランテ号」と御宿寄港を歓迎する花火大会(写真右上)

## 岩和田漁船団が 出迎えに

日本とメキシコの修好百周年を記念して、四月三十日に姉妹都市アカプルコを出発したマリガランテ号が、八月四日の朝、網代湾に勇姿を現わした。

海上では水先案内をかってた出迎えの漁船団が大漁旗をなびかせる。「ビエンベニード(ようこそ御宿へ) 歓迎セレモニー会場の岩和田漁港には、たくさんの人たちが、太平洋をわたってきた平和の使者の到着を待ちわびる。

そして岩和田・入宿地区のまつりばやし流れるなか、漁船に乗り移ったビタル・アルサル船長ら乗組員が、岩和田漁港に上陸。

十年前、御宿とアカプルコ姉妹都市協定に尽してくれたメキシコ在住の東信行氏、井桁三郎氏(茂原市)らも歓迎セレモニーに駆けつけている。岸壁に整列したマリガランテ号の乗組員の労をねぎらうように、滝口町長が歓迎のメッセージ。御宿とメキシコの友好の歴史の一端を紹介する。アルサル船長は、三百八十年前の岩和田の人たちの人類愛をたたえ、いままた同じ気持ちで歓迎してくれることに感

## マリガランテ号とは

日本とメキシコ修好百周年を記念して、太平洋一万二千キロの航海をへて寄港したマリガランテ号は、コロンブスの米大陸発見五百周年記念し、メキシコの市民団体「海・人・平和」財団が七年がかりで建造した機帆船です。この船は、単に大航海時代のロマンスを再現するだけでなく、「二十一世紀、地球に平和を」の地球人宣言を訴えることが大きな目的です。

今回の航海もスペイン人の船長をはじめ、フランス、メキシコ、アルゼンチン、コスタリカなど国際色豊かな乗組員が参加しています。

謝するとあいさつ。マリガランテ号の船先に飾られた船海安全の女神「マーメイド」の像を滝口町長に手渡した。御宿町からは、海女とマリガランテ号の銅板画などを記念に贈る。

そして、マリガランテ号航海の大きな目的である「地球は一つ」という「地球人宣言」を御宿中三年、樋口道子さんが声高らかに朗読。日本とメキシコ友好の原点である御宿で、いま新たな、そしてスケールの大きな交流の幕開けを告げるかのように――。

## 一千人が漁船で 帆船見学

マリガランテ号の御宿寄港を喜んだのは、御宿町民だけでなく、漁船に乗って帆船マリガランテ号を見ることができると、岩和田、御宿両漁港には、海水浴客など約一千人が列をなし、ボランテアアの遊漁船六隻は、休む間もなく動き続けた。海上が荒れ模様のため船内公開ができなかったことが、唯一惜しまれる。

日墨修好通商条約締結百周年に当たる本年、メキシコにおいて復元された十六世紀のガレオン帆船「マリガンテ号」が遙かなる太平洋を横断、日墨両国の民間親善使節として我が国を周航し、本日、御宿に寄港されることに對し心から祝意を表します。

日本とメキシコとの交流は、十六世紀後半から始まり、マニラとアカプルコとの間で十九世紀初頭まで続いた所謂ガレオン貿易時代において活発化しました。

## 御宿寄港に祝意

## 宇野外務大臣からのメッセージ

一六〇九年には、ロドリゴ・デ・ビベロ総督一行が、現在の御宿の海岸に漂着し、その村民に命を助けられ、時の徳川將軍秀忠及び家康に謁見する機会も得たとの史実があります。

両国間の伝統的友好関係は、これにより端緒を開いたものと言えましょう。

このような両国の歴史的關係を象徴する地、御宿にマリガンテ号が寄港することは、日墨間の四百年にもわたる歴史の深さを想起させるものであり、極めて意義深いものがあると考えます。

本年の修好百周年記念行事の一環として、アカプルコと姉妹都市関係にある御宿において記念行事が開催されることは、今日の緊密な両国関係の幅広さを正に意味するものであり、この姉妹都市関係が今後とも益々増進されることを祈念してやみません。

外務大臣 宇野宗佑



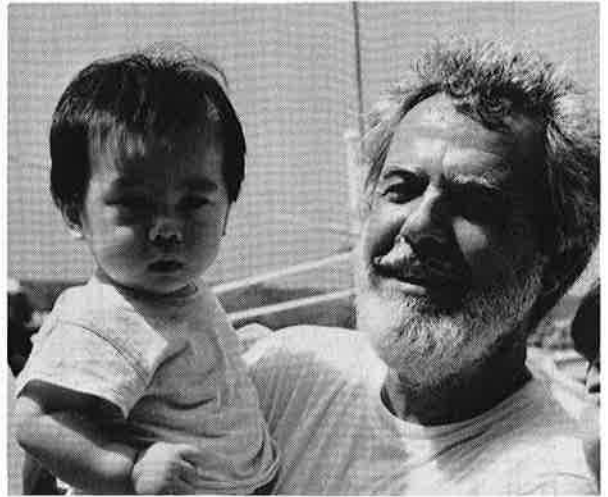
▲岩和田漁港は歓迎する人々であふれた。



▲メキシコ国旗を飾った屋台、子どもたちのまつりばやし歓迎ムードを盛り上げた。

七月十八日、外務大臣主催の日墨修好百周年記念式典が東京都内で開催され、アカプルコと姉妹都市であり、マリガンテ号寄港地でもあることから、式典へ招待された滝口町長は、宇野外務大臣からメッセージを託されました。【写真上】

# 地球が好き 人間が好きだから



▲子どもたちへ“平和”の大切さを伝えたい  
幼児を抱いたアルサル船長

## 外務大臣からの メッセージに感激

四日午後六時からメキシコ記念公園で行われた歓迎夕食会では、マリガランテ号の御宿寄港が「日墨修好百周年記念行事」の一環であることから、宇野外務大臣からのメッセージが届けられ、船長はじめ乗組員たちを感激させた。そして乾杯。世界の平和を訴える海の男たちも、陽気なラテン系民族の一面をみせ、

なごやかに交流を繰り広げる。打ち上げ花火が御宿の夜空を彩り、マリガランテ号歓迎行事は最高潮を迎えた。三百八十年前の史実とともに御宿での温かい歓迎ぶりは、乗組員に強い印象を与えたことだろう。

## 深まる友好の絆 9月にメキシコへ 訪問団

六日午後、御宿出港を前に、アルサル船長は、お礼の言葉とともに「オンジユク、バン

ザイ」と叫び、見送りに来た一人ひとりと固い握手を交した。白い帆をはり、網代湾を出航するマリガランテ号を護るように並進する漁船団。言葉は最後まで通じなかったが、御宿の海を舞台に、日本とメキシコ、御宿とメキシコの友好の絆は、より深く私たちの心に刻みこまれた。『ブエンビアッヘ』（よい船旅を。マリガランテ号）

九月には、御宿から友好親善視察団がメキシコを訪問する。

## ビタル・アルサル船長から 御宿町民へのメッセージ

御宿町民のみなさん、本日はどうもありがとうございます。日墨修好百周年記念行事ということで、外務大臣からのメッセージまでいただき、たいへん感激しております。

マリガランテ号は、十六世紀の造船技術や航海術を

駆使したもので、私たちは、それに乗ってやってきました。

ここ御宿は、小さな町かもしれないませんが、歴史の上ではたいへん重要な役割を果たした所だと思えます。それは、いまから約三百八十年前、アカブルコを目指した船が、みなさんの先人たちの助けを受

け、多くの命が救われたという史実が示しています。

今回、私たちの航海と日墨修好百周年が一致したわけですが、私たちは、御宿町との姉妹都市アカブルコを出港してきました。

私たちの夢は、肌の色、言語の壁を超えて、五十億の人間が住む地球をひとつに結ぶことです。そのため、私たちは天使ではありませんが、白い旗、平和の旗を掲げてきました。

人間には、欠点やいろいろな願望がありますが、それらを超越してこそ、ひとつになれると思います。

みなさんの先人たちの三百八十年前の行為も、根底に人間的な愛情、人類愛があったからだと思います。二日間という短い滞在ですが、御宿のみなさんと交流できることを、たいへんうれしく思います。

（八月四日、メキシコ記念公園でのあいさつ）

## マリガランテ号 関係の写真を 原価頒布

町では、マリガランテ号寄港記念行事の写真を原価で頒布します。見本は町商工観光課窓口にあります。希望者は、希望する写真の番号、写真の大きさ、枚数などを明記してお申し込みください。



# マリガランテ号歓迎のあいさつ

町長 滝口 栄蔵

マリガランテ号、そしてクルーのみなさん、ようこそ御宿においでくださいました。

御宿町民を代表し、心から歓迎申し上げます。

みなさんが寄港した我が御宿町は、メキシコと深い友情で結ばれております。この絆となった出来事をまずご紹介したいと思います。

一六〇九年（慶長一四年）、スペイン領フィリピン総督ドン・ロドリゴ伯爵をはじめ一行三百七十三人を乗せたサンフランシスコ号は、フィリピンからメキシコに向け航海中、台風に遭遇し、この岩和田海岸に漂着しました。

この事を知った岩和田の村人たちは嵐の中、自分の生命の危険をも返り見ず、村をあげて救助にあたりました。婦人たちは素肌で遭難者たちを温め、蘇生させたと伝えられています。

一行は翌年、徳川家康から

贈られた船でメキシコに無事帰国しました。これが縁で日本とメキシコ、スペインの交通が開かれたのであります。

この人間愛と、日本、メキシコ、スペインの交通発祥を記念し、一九二八年（昭和三年）、白亜の記念碑があの丘に建てられました。

太平洋戦争によって荒廢した、この記念碑は、一九七八年（昭和五三年）、メキシコ公園と共に改装され、同年十一月一日、ロペスメキシコ大統領によってテープカットが行われ、今もなお当時の人たちの心意気を伝えております。

こうした先人たちの偉業が礎となり、一九七八年（昭和五三年）八月七日、アカプルコ市と御宿は姉妹都市として結ばれました。

私たちは毎日が平和であることを望みます。地球に住む人たちが安心して生きて行くためには、世界が平和でなく

てはなりません。

いまから約五百年前、コロンブスがアメリカ大陸を発見した時の歴史的な船を復元し、地球に平和をと、地球人宣言を全世界に訴えるためにマリガランテ号が建造され、ビタル・アルサル船長はじめ

みなさんが、その使者となって活躍されておりますことに深い敬意を表するものであります。

一八八八年（明治二一年）十一月三十日、日本、メキシコ両国政府は、友好通商関係を構築することを目的として、

日墨修好通商条約に調印しました。したがって今年、修好百周年という記念すべき年に当たります。マリガランテ号の御宿寄港も、この百周年の記念行事の一環であります。修好条約に至るまでのルーツが御宿であることに、私たちは大きな誇りを持つものであります。

私たちの祖先がのこした国境を超えた人類愛を胸にきざみ、メキシコとの友好を更に更に深め、輪を広げてゆくことが、みなさまの訴える「地球人宣言」に合致するものであると信じます。

この事業の主催者であり、社団法人フロンティア協会、海・人・平和財団の偉業に感謝し、マリガランテ号とビタル・アルサル船長以下のクルーのみなさんの限りないご活躍とご健勝を祈念申し上げます、ごあいさついたします。

マリガランテ号御宿寄港に際し、温かい心で歓迎し、ご協力いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。（御宿町）



▲よい船旅を。見送りの人たちと船上で

# 長梅雨で痛手の民宿・

## 売店など県が緊急融資

### 詳細は商工観光課・商工会へ

県では、長梅雨の影響で県内各海水浴場の七月一か月間の入場者数が、昨年比で半減したことから、経営状況の悪化した民宿業者などに対し、限度額一千万円の緊急融資を

行うことにしました。

▽融資対象者は  
旅館業、民宿業、海の家、みやげ物店を一年以上営業し、今年の冷夏による海水浴客などの減少で、前年七月と比較



▲ 7月31日ようやく梅雨明け。8月になっても本格的な真夏日は数えるほど。(8月6日撮影)

して二〇%以上売上げが減少した業者。(町長の認定を受ける)

▽融資条件は  
① 資金使途：運転資金  
② 融資限度額：一中小企業者一千万円以上  
③ 融資期間：五年以内  
④ 融利率：年四・六%  
⑤ 利子補給：年一・五%  
(五年間補給)

▽詳しいことは  
町商工観光課(☎68-2511)または町商工会(68-2818)までお問い合わせください。

### ゴミ日記



海岸からゴミ情報をつつ

おかしな言い方かも知れませんが、年々海岸ゴミが豊かになっている。量もさることながら、特にその質において豊かになっています。例えば何年前まで、だれもが持ち帰っていた一畳

### 知っておくと便利です



暮らしのダイヤル

#### 『赤ちゃん相談室』

0472-45-0008  
母親の育児の不安、悩みなど、ベテランの看護職が相談を受けます。

○相談内容／0歳から4歳児までの育児全般について、保健婦、助産婦、看護婦が

#### 『老人看護電話相談』

相談を受けます。  
○受付時間／月曜～金曜日の午前9時～午後3時  
○費用／無料

0472-45-0025

病气やねたきりなどのお世話でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

○相談日／毎週火曜日と金曜日  
○受付時間／午前10時～午後3時  
○費用／無料

(千葉県看護協会)

社会を進行させます。

生産されるものは、全て廃棄され、ゴミとなると言っても過言ではありません。

見方を変えて言えば、ゴミの量が増え、その質が豊かになることは、人間社会の豊かさのパロメーターかもしれません。しかし、それが即、心の豊かさにつながるものではないでしょう。

ゴミの散乱が、人間の心の散乱を示唆するものではないことを願うものです。

情報を素早く伝達

# 防災無線 戸別受信機を設置します

## 63・64年度で難聴取を解消

### 負担金は一万三千元

町では、防災行政無線の戸別受信機の設置希望調査を五月に実施しました。調査は、町内全世帯を対象に実施。その結果、千六百八十六台の設置希望がありました。(別表参照)

今回の設置希望調査に基づき、六十三、六十四年度の二か年で戸別受信機を設置することにし、全世帯に申込書を配布します。なお、調査時に設置を希望されなかった方も申し込みを受け付けますので、お申し込みください。

設置負担金は、一台につき一万三千元です。後日、納付書を送付します。

(町総務課)



戸別受信機設置希望調査結果表

区名	設置する	不要	設置済	未回答
須賀	192	26	0	112
浜	201	13	3	35
高山田	66	8	2	8
久保	205	91	2	53
新町	279	101	3	71
六軒町	145	52	2	39
岩和田	344	29	2	82
上布施	152	29	3	24
実谷・七本	102	16	2	10
計	1686	365	19	434

### ■防災行政無線システム

防災行政無線放送は、別図のようなシステムで、住民のみなさんに伝達されます。無線ですから災害に強い施設です。

現在は、役場内の親局操作卓から子局バンザーマスト二十七局(各地区の屋外拡声機)によって放送されています。

しかし、アンケート調査の意見欄にもあったように、屋外拡声機による放送のため、夜間や風雨の時などは、各家庭に十分に伝達されません。

こうした状態を解消するため、戸別受信機を設置するものです。

### ■戸別受信機

防災行政無線用の受信機。御宿町専用です。卓上・壁掛型で縦二〇、横二五・五、幅七・五センチです。

平常時は家庭用電源を使用、停電の時は内蔵電池を使用します。また、電波難聴の地域は屋外アンテナを取り付けます。受信専用ですので発信はできません。



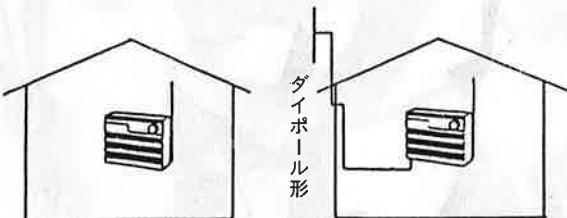
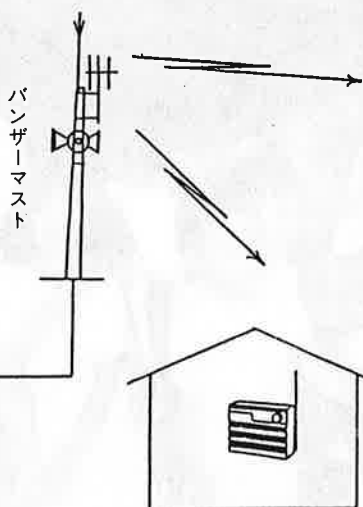
# 防災行政無線システム系統図

固定系

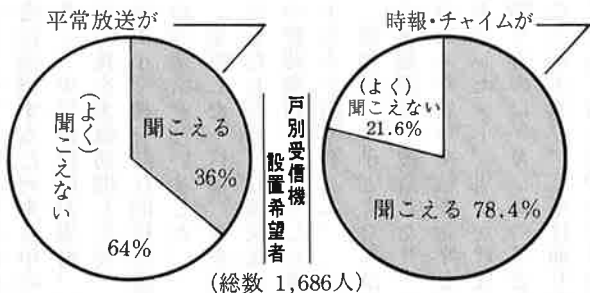
親局

子局

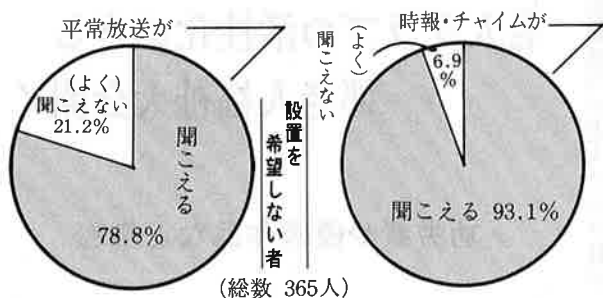
親局設備  
自動プログラム形



戸別受信機 ← 63・64年度で設置 → 戸別受信機



## アンケート結果で見ると 防災無線・屋外スピーカーからの聴取状況



御宿町の有線放送施設は、昭和三十六年に創設され、十七年間に住民のみなさんに告知放送を続けてきました。この間、機械設備や町内に配線されたケーブル、支柱などの老朽化が進み、数年前からは修理に修理を重ねて業務

を行っている状態です。このため、戸別受信機設置事業が終了した時点で有線放送施設を廃止しますので、ご了承ください。廃止後の告知放送、防災放送は、防災行政無線を使用して行います。

## 有線施設・設備(受話器)は 戸別受信機設置後に廃止

## 「県民政治大学」の 受講生を募集

県選挙管理委員会では、県民政治大学の受講生を募集しています。

同大学は、県民の政治・選挙に関する意識の向上を図ることに、明るい選挙の実現をめざして毎年開催されているもの。本年は十月から十一月にかけて五回にわたり、千葉県労働者福祉センターで開講します。

受講希望者は、十月一日までに、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業を葉書か、所定の申込用紙に記入して、千葉市市場町一ノ一 県庁地方課内 県選挙管理委員会 (☎0472-2312143) まで申し込んで下さい。

なお、募集人員は五百人。受講料は無料です。

【開催日時】10月20日(木)、10月22日(土)、10月31日(月)、11月2日(水)、11月9日(水) / 午後1時から4時まで  
【講座内容】選挙、政治、地方自治、その他の一般教養

# 大きく育て／小さな国際交流



メキシコ少年団を握手で歓迎する岩和田小の児童

## みんなの の 広場



みなさんからの  
投稿や話題など  
でつくるページ  
です。

## メキシコ少年団と

### 岩和田小児童が交流会

八月一日、世界少年野球大会に出場するため来日中のメキシコ少年野球団が来町。滝口町長を表敬訪問した後、岩和田小学校を訪れ同校児童との交流会を行いました。

来町した一行は、日系の子どもたちが通う日墨文化学院の野球部員を中心とした選手十六人と指導者三人。

岩和田小の子どもたちは歌や楽器演奏を披露したり、自分たちが書いた絵や習字などをプレゼント。思いがけない贈りものにメキシコの子どもたちは大喜び。言葉は通じなくとも、目と心でわかりあえたようです。

この日の出会いが、いつの日か大きな国際交流として育つことを期待します。

## 老人クラブの活性化めざし 郡老人福祉大会開く

### 功労者や優秀作品など表彰

や健康の保持、社会参加などを実践する主旨の大会宣言や老人クラブ活動に功労のあった個人、団体への表彰。さらには作品展や芸能コンクールも行われました。

御宿町からは、次の方々が各部門で表彰を受けました。

▼老人クラブ活動功労者

大谷 五朗さん

▼優良老人クラブ

六軒町明寿会（石井和夫会長）

▼

▼夷隅郡老人クラブ作品展・特別賞（郡婦人会連協会会長賞）

佐藤田鶴子さん（新町老人クラブ・手工芸の部）

▼同・入賞

石井たまさん（須賀長寿会・俳句短歌川柳の部）

▼同・入賞

石井たまさん（須賀長寿会・俳句短歌川柳の部）

▼同・入賞

石井たまさん（須賀長寿会・俳句短歌川柳の部）

## 空手・弓道で優勝

### 夷隅郡民体育大会

本町関係の種目別成績は、つぎのとおりです。

#### ■夷隅郡民体育大会の結果■

○一般の部

▼野球 三位▼バレー・男子

一位

○中学校の部

▼剣道・女子二位

三位▼卓球・男子四位▼同・

女子二位▼軟式テニス・男

子四位▼同・女子二位▼硬

式テニス・男子二位▼同・

女子三位▼剣道 三位▼ゴ

ルフ五位▼空手一位▼弓道

一位

○中学校の部

▼剣道・女子二位

# 「少年の船」に参加して

御宿中三年 峰 島 洋 昌

僕は、七月三十日より八泊 外への体験航海であり、期待 九日間の日程で、B & G「少 もあったが、反面とても心配 年の船」に参加し、グアム島 でした。 へ行くことになりました。 しかし、グアム島への出発 僕にとっては、初めての海 前日、宿泊した、東京・晴海



グアム島の少年と盆踊りを楽しむ船上での「日米交換会」  
〔写真円内〕は 峰島君

のホテルでは、「少年の船」に 参加する同じ班の人たちとも 友達になれ、心が少し落ち着 きました。

翌日、成田空港より四七五 人の仲間と共に、ジャンボジ エット機に乗り込み、グアム 島へ出発したが、飛行機に乗 るのは初めてだったので、離 陸の際、恐怖感で足が震えて しまった。

飛行機の窓から見た房総半 島は、とてもきれいで、しば らく窓の外の景色を見つめて いました。

グアム島に到着、バスで島 内めぐりを行ない、恋人岬や パセオ公園の自由の女神な どを見学した後、この日より 晴海埠頭に到着時まで乗船する 「にっぽん丸」へと帰る。

グアム到着二日目、寄港地 活動としての「日米交換会」 では、僕たちとグアム島の少 年たちが、一つの輪となり、 共に盆踊りを楽しみ、現地の 人々との親睦を深めました。 グアム到着三日目、マリッ ン・スポーツの研修があり、ロ ーポート・OPヨット・カヌ

ーなどに、初挑戦した。 帰路は、船の旅で、洋上運 動会や手旗信号・ロープワー ク・救急法の講習、又、椰子 の実で船の甲板を磨くデッキ ウォッシュも体験した。

そして、太平洋戦争の激戦 地となった硫黄島沖での洋上 慰霊祭では、参加者一同、世 界平和を祈りました。 最後に、このたびの体験航 海に参加するにあたり、お世 話になった皆様に、心より感 謝いたします。



おんじゆ 非壇  
月見草ロベス通りの匂ひたる 河崎 康代  
国道を裸で通る海女の町 渡辺 なつ  
まくなぎとともに砂丘へ十歩 吉田 子陽  
ほど

海よりの風コスモスへ駅の前 猪鼻 とき  
誰待つと海の暮色に草しげる 今井 アキ  
思ふこと誰にも言えず草矢射 岡田 たづ  
る 市原 さき  
病みてより久しき友よ梅雨長 斎藤 月子  
し 子らさわぐプールに早し梅雨 齊藤 月子  
晴間 伊藤十九二  
青柿を落して雨の横なぐり

うなじをばかろく青田の風通 山口 つる  
捕はれしこと忘れしか蟬鳴け 佐藤 笑人  
り 石井 たま  
竹やりを思へば遠く終戦日 嵯峨 通恵  
どよめきの一瞬とまる大花火 土井 久恵  
寝不足のまなうら熱し白木樫 岩瀬 京子  
夏寒し砂踏む音をきくばかり 石田ゆき緒  
風紋に伏して裸の子のまぶし

# 提 言

## わたしたちの望む

### 月の沙漠記念館とは



町では現在、「月の沙漠記念館」建設の準備を進めていますが、この建設計画に住民の意見を反映させるべく、記念館についての要望、アイデアを募ってきました。

町に寄せられた多くの提案の中から、一つのレポートを紹介します。このレポートは、十人の住民有志が集まり将来のまちづくりの中の記念館の位置づけ、記念館の必要性の是非から出発。記念館を観光資源や文化施設、さらには住民メリットなど、さまざまな見地に立っての話し合いの中で、まとめあげられたものです。

月の沙漠記念館は、今後みなさんの意見を参考に具体化されていきますが、住民の有志が、記念館建設を通して将来のまちづくりについて展望した貴重な提言として、みなさんに公表いたします。

## 仮称「月の沙漠記念館」

### に関する提案と要望

その一

#### はじめに

#### 愛するわが町の発展を願って

御宿の美しい自然と風土、そしてわが町の歴史を彩ってたくましく生きてきた人々。私たちは、これらを誇りとしています。この事を心に留めて、このレポートを始めます。

二十一世紀を目の前にして私たちをとりまく社会は、大きく変わろうとしています。高齢化社会の進展、若者のふるさと離れ、行き詰りをみせる産業社会、汚染され失われゆく自然、徐々に進みつつある人々の意識変革等々。私たちは、この厳しい時代の波を乗り越えてゆかねばなりません。

今回町当局が御宿町民に求

めた仮称「月の沙漠記念館」の建設プランは、これからの御宿の「まちづくり」の中で本当にそれが御宿の黎明となり得るかどうかが、また今後のわが町の進むべき方向を示唆しうるか否かの、重大な問題提起を含んでいると私たちは考えます。

ここに私たちは、ひとりの住民として、この計画が自分たちにどういう意味を持ち、私たち自身がこの町で「どう生き」「町がどういう方向に進んでゆく事」が望ましいのか、私たちなりに話し合ってみました。そして、その作業を通じて模索しながら、いくつ

#### 提案者

住民有志 (敬称略)

新井 明  
安保 久武  
内山 浩  
大谷 信之  
鈴木 元晴  
中野 芳彦  
永島 輝代  
本吉 和之  
吉田 寛  
米本 守

の提案と要望をまとめてみました。

これは、私たち自身への「内なるものへのレポート」でもあるのです。

そして、このささやかな提案と要望が、町当局と一般住民とのより豊かな行政コミュニケーションションへの礎となれば幸いです。

このレポートが、わが愛する町の発展に連がることを願いつつ、具申させていただきます。



# 建設計画を

## 進めていく上で――

### 一、私たちの望む基本的構想

#### ■ポストモダンの

#### まちづくりのむけて

#### ■素晴らしき

#### ■御宿への第一歩

残してゆけるだろうか。かつて先人たちが追い求めた人間としてのロマンを回復していく責務があるのではないだろうか。

素晴らしき御宿の自然と風土と人間性の復活にむけて、一歩足を踏み出さなければなりません。

いま、私たちをとりまくあらゆる分野は、混乱の中にあります。こうした時代背景のもとに、日本各地で「むらおこし・まちおこし」の運動が行われ始めました。

私たちは、御宿の「まちづくり」の中に、このようなポストモダンの模索が必要であると考えます。そしてこのポストモダンの模索の中に、この記念館建設の意義があるのではないかと考えます。

「記念館」建設のプランは、このための出発点となる可能性を秘めているように思われます。

住民の生き生きとした生活表現の場として、単なる一過性的な鑑賞機関としてではなく、展示される中身によって私たちの生きざまや自然、風土、歴史などが生き生きと伝えられ、訪れる人々に感動を与え、この地に再び足を運べるような「記念館」づくりが必要と考えます。

また、私たちがこの町に生き続けるための心の糧となる

「うるおい」の場として「わが町にこの記念館あり」と誇りを持って永く愛されるような「記念館」づくりを望みます。

そして、この「記念館」建設を契機として、町民みんなが、もう一度、童謡「月の沙漠」とは自分自身にとって何なのかを考えてみる必要があります。それは、とりもなおさず私たちのアイデンティティ（存在証明）の確立でもあるのです。

#### ■教育的効果を

#### ■生み出す場として

#### ■もう一度

#### ■「月の沙漠」の原点に

加藤先生は二十年前、このラクダ像が出来る時に、これが観光のためだけに利用されるべきではない由の事を申されたと聞いています。いま、もう一度この原点に戻って見る必要があるのではないのでしょうか。

童謡「月の沙漠」にうたわれる崇高なまでのイメージの

世界は、氏の作品と生きざまを通して私たちに何を語りかけようとしているのでしょうか。

氏の生きた大正の時代背景と共に、私たちは氏のロマンの中に多くの学ぶべき点を持っています。この「記念館」がその事を学習できる場になることを望みます。

#### ■地方文化の

#### ■発信地として

#### ■資料展示だけでなく効果的演出

この記念館は単に資料を展示するという受け身の場ではなく、地方文化の発信地の役割ができる場であることを望みます。

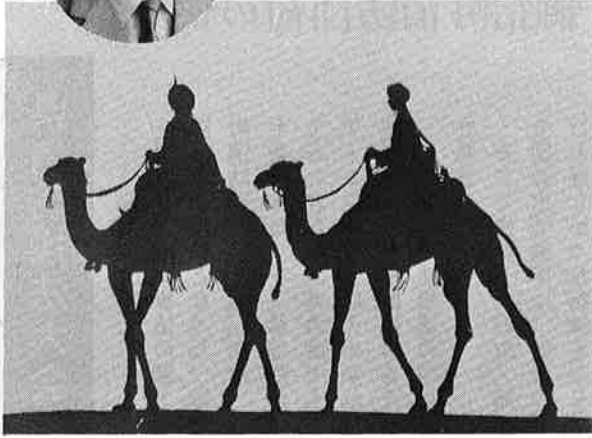
そのためには、しっかりとした「運営委員会」を設置し効果的演出を打ち出して、住民にも、ここを訪れる人々にも感銘を与えられる記念館づくりが必要だと考えます。

(以下次号へ)

続く

何を語りかけるのか  
童謡「月の沙漠」

【写真左】  
在りし日の加藤まさを氏





# 新町・第2分団 千葉県大会でも優勝

## 御宿町消防団初の快挙

### 県消防操法大会

ポンプ自動車操法の部で東隅地区の代表となった、御宿町消防団第二分団（新町）。七月二十日、千葉県消防学校で行われた千葉県大会でも、チームワークと鍛えぬかれた技術で、他の地区代表を圧倒し、千葉県消防操法の頂点に立ちました。

そこで優勝した新町・第二分団の出場選手に、優勝の喜びと厳しかった訓練をふりかえった手記を寄せていただきました。

### 一昨年

#### 雪辱果たす

鈴木雅浩

いよいよ千葉県ポンプ操法大会の日が来た。私は、一昨年、岩和田第七分団の要員と

して県大会に出場し、悔し涙を流している。今年こそは、と心に固く誓った。

肌寒い四月から炎天下の七月まで、私たちは駆け、倒れ、耐えて、気合いでまた駆け出す訓練の連続。五人が一体となり頑張り抜き、ついに優勝旗を手にした。

これは長い間、私たちを支え、励ましてくれた新町区民をはじめ、多くの皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。今後も、この榮譽に恥じないよう、消防魂で頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。（指揮者）

### 訓練の大切さ

認 識

滝口一浩

朝五時。眠い目をこすりながら、ポンプ操法の早練習へ向かう日々が続いた。ふだんなら、まだ夢の中である。

四月から五十日あまりの練習を積み重ね、七月一日の郡大会で優勝。その喜びも束の間、県大会を目指しての特訓である。また、今日も練習かと、カレンジャーとにらめっこする毎日だったが、県大会でも最高の結果が出て、本当に良かったと思っている。

私自身、今回の経験で消防訓練の大切さがよくわかったが、それ以上に重要なことは一人ひとりの日常生活での火に対する気配りだと痛感する。苦しい練習を終えたいまま、御宿に火事がなく、出動する日がないことを願うばかりである。（一番員）

### やったぜ

#### 第二分団

石井 豊

七月二十日、午前三時起床。消防操法千葉県大会の朝である。

我ら第二分団は、万全を期して前日より消防学校に宿泊したが、高ぶる気持と緊迫感

で殆ど熟睡できず、決して良好とは言える状態ではなかった。

そして操法開始。各地区代表の幟が立ち並ぶなか、目標は前方の「火点」。五人の心は一つ、スピードと気合の御宿操法をぶつけることのみであった。

四月から練習開始。この日まで幾度となく、やめたくなかったこともあったが、厳しさ

「やった、やった」。

今回の出場に際し、御協力いただいた皆様は厚く御礼申し上げますと共に、今後は一消防団員として、消防防災活動に一層の努力をする覚悟です。ありがとうございました。

（三番員）



仕事を厳しい訓練を両立させ見事に県大会で優勝した第2分団のメンバー

# 操法で人の和を学ぶ

石井康一

緊張して足がガタガタふるえるのも束の間、あっと言う間の五分間でした。

四月から六十日間にも及ぶ厳しい訓練。途中何度もくじ

けそうになった気持も、先輩の支えで他の四人と共に乗り越えることができました。

さらに、県大会前日、仕事に追われて消防学校に泊ることが難しかった私を、鈴木团长さんのほからいで、仕事の応援に来てくれた桜井分团长佐藤副团长、鈴木指導部長。

こうした多くの人たちの協力によって優勝できたと思います。

大会を終えたいま、操法を通して消防の基礎はもちろん「人の和」ということを学びました。この貴重な体験を、これからの生活に役立てていきたいと思えます。(二番員)

## 緊張感も

### 楽しい思い出

入江光男

六十数日間の練習。中だるみの時期、けがや病氣、仕事の都合などで五人がそろわな

い時もありましたが、一人も欠けることなく大会を終えることができ、素晴らしい思い出となりました。

郡大会では、極度の緊張で何をどうやったか、わからないうちに終わってしまい、優勝した実感がわきませんでした。が、県大会では、張りつめた

# 消防操法千葉県大会を

## 終えて

七月二十日、二十四回目を

迎えた千葉県消防操法大会が県消防学校グラウンドで開催され、わが町第二分団(新町)が都市の代表として出場。多くの関係者が見守るなか、見事な演技を披露し、ポンプ自動車部の優勝を果たし、千

葉県の頂点に立ちました。

このことは、御宿町消防団はじまって以来のことであり、誠に意義深いものがあります。

ご承知のように消防団は、災害時に町民の生命、財産を守るため組織されており、この目的を達成するため、

雰囲気でしたが、緊張感を楽しむというか、練習以上の力が出せたと思います。

終りに、私を期間中、協から支え励ましてくれた、本部、第二分団、家族、従業員など多くのみなさんにこの場を借りて心からお礼を申し上げます。(四番員)

日ごろから訓練を積み重ねておりますが、特に火災発生時におけるいち早い消火活動のために操法訓練が重要視され、伝統的な本大会が毎年開催されております。

操法大会に出場するために、要員はもとより、団員の一致団結した結束がなければ到底成し得ないことであり、職業を持ちながら訓練に励んだ団員諸氏に深く敬意を表す



### 日赤一般社資募集

#### ご協力に感謝

先に実施した日赤一般社資募集に皆様のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。おかげさまで目標を上回る九十二万八千円の善意が寄せられました。早速、日本赤十字社へ送らせていただいたこ

るものであります。また、大会出場に際しましては、町当局、地元区長、区民の皆さまの温かいご支援とご協力をいただいたことに対し、厚くお礼を申し上げます。これを機会に団員のより一層の団結と活性化を図り、安心して生活できる予防防災体制の確立に努めてまいります。(消防团长・鈴木信一)

とをご報告申し上げます。

(町社会福祉協議会)

### お年寄りなどの

#### 手作り作品を展示販売

##### 「ふれあいの店」

お年寄りや障害者が、自己の能力を生かした手作りの作品を展示販売する「ふれあいの店」が、県老人クラブ連合会の主催で開催されます。

▽開設期間 9月9日(金)から9月21日(水)まで

▽開設場所 千葉そごう

▽出品者 県内に居住する六十歳以上の方。県内に居住する身体障害者、精神薄弱者

### 9月17日に

#### 民事介入暴力相談

最近、暴力団などが民事問題に介入するケースが増加しています。このため、県警と千葉県弁護士会が合同で、相談を受けます。

【相談日】9月17日(土)午後1時30分から午後4時

【会場】千葉県職員会館

【問い合わせ】千葉県警察本部捜査第四課(☎0472-2510434)

# 長い梅雨・冷たい海……………でも



歓声をあげて波打ち際を走る子どもたち

## 子どもたちには 温かな心の交流が

七月二十日から二泊三日の日程で、長野県野沢温泉村中学校の一年生九十三人らの一行が来町。御宿中学校の一年生と海辺の交流を繰り広げました。

今年の交流会は、長梅雨の影響を受けて、夏の青空は顔をださず、冷たい海という、あいにくの天候。

しかし、そんな自然条件をふきとばすかのように、海の子も「山の子」も元氣よく波しぶきをあげ、友情を深めました。ご協力いただきました遊漁船、岩和田売店組合の皆様にお礼申し上げます。海と山の子交流事業に参加した野沢温泉村の子どもたちから、感想文が届きました。原稿用紙には、御宿での思い出が、いっぱい詰めこんでありました。そんな感想文を三点ご紹介しましょう。

## 海と山の子 夏 交流会

### おもしろかった 漁船での遊覧

河野 仁

待ちに待った御宿に行く日がきた。御宿に着くと公民館で御中の人々がぼくたちを歓迎してくれました。御宿の方言で寸劇をやってくれました。歓迎式が終って、月の沙漠に寄りました。とても海くさかったです。

二日目は、いろいろな交流会をしました。思い出に残ったのは、漁船とフォークダンス、海水浴でした。

漁港にいる時には、波がなくて、漁船に乗っていても平気でしたが、いざ海に出てみると、すごい船のゆれでした。正也君たちと「すげえなあ」とか「おもしろえ」などと言っていたけど、五分ぐらいしたら、おっかなくて足が、ガクガクしてきました。女子も船がゆれるたびに「キヤー」とか言って、とてもうるさかったです。でも、おもしろかったし、よい思い出になりました。



今年も好評の漁船遊覧

した。

三日目は帰る日です。朝、メキシコ公園で海を見ました。やっぱり海はとてつもなく広がったです。それから、中央海岸へ行って「ズームイン朝」の生放送を見に行きました。

お別れ式では、泣いている人が何人かいて、感動してしまいました。

ぼくと友だちになった内山卓君と鈴木もとゆき君と中平君とあくしゅして、バスが出ました。

今度来る時は、おもいっきり遊んで、日焼けしたいと思っています。この旅行は、とてもおもしろかったです。

# 海と山の子交流会



お母さんたちが一生懸命につくったパーベキューをほおぼる。

## 御宿

### 思い出

西方 鹿之介

御宿に到着。「海が見えた」「どこどこ」「ほら、あそこ」に水平線があるよ」みんな、とても喜んだ。公民館で歓迎式を受け、月の砂漠に行った。ラクダに乗った人の像があった。

翌朝、寒さで目が覚めた。霧雨が降っていた。みんな不安な顔をしていたけど、雨がやみ、曇り空になった。

初めに漁船に乗った。港を出て、すぐにすごいジャンプをした。ぼくは、エイヤトビ魚、カモメを見た。

浜での交歓会。自己紹介カードを渡し、待ちに待った海水浴。ボートに乗って、波のりをしたり、とても楽しかった。

昼食はバーベキューだった。たまには外で食べるのも、違った味がして、おいしかった。

御宿の人と接した中で一番楽しかったのは、スイカ割りでした。ぼくは、だれもやる人がいなかったのので先陣をきった。でも、あと三センチというところで当たりませんでした。

長かったようで短かった交流会。最後の日になってしまいました。御宿の人と今になって、もっと楽しくいっぱいしゃべりながら交流できたら、と思いましたが、バスがゆっくりと動き始めた。ぼくは最後に斉藤君とあくしゅをして、御宿をあとにしました。

この三日間、とてもよい思い出になりました。学び遊びとてもよい経験をつむことができました。



レクダンスを楽しみながら、うちとけていく。

最初は行く勇気がありませんでした。ほんとうに波がこわかったのです。でも、その言葉を信じて、「いまだ！」というかけ声にあわせて、目標位置まで走りました。

すぐに大きな大きな波がおしよせてきました。私が、すぐそばにいた御宿の人に、「どうするの。こわいよ」と言うと、「大丈夫。ふつうにしていれば波が通りすぎるから。」

この言葉を最後まで聞かないうちに、波が通りすぎていました。気にしていたよりも、こわくはなく、波のりをしているような感じでした。

日本海では、あじわえないすてきな波のりだったと思います。

## すてきな

### 波のり

鈴木 由香里

この三日間は、とても思い出に残る行事でした。特に、二日目の御宿中との交流会で

は、友だちもたくさんでき、いっしょに海に入ったりもしました。

御宿の海は、とても波があらかたです。けれども、すきとおっていて、心をなごやかにしてくれるような海でもありました。

御宿中の人々が、私に話しかけてきました。

「ねえ。いっしょに泳ごうよ。ここにいるから、波がこわいんだよ」と。

御宿の人たちは、とても親切でした。道が、わからなかったりすると、すぐにおしえてくれたり、とても良い人たちでした。

こんどは、御宿中の人たちが野沢に来ます。その時は、これ以上に親切にして心に残る思い出としていきたいと思っています。

# 保健



## 岩和田健康相談

【日時】9月3日(土)午前  
9時30分から11時30分まで  
【会場】岩和田青年館  
【内容】血圧測定、個別相談、みそ汁の塩分濃度測定  
【持ち物】四十歳以上の方は健康手帳持参

## 血圧相談

【日時】9月9日(金)午前  
9時30分から午後3時まで  
【会場】公民館  
【内容】血圧測定、個別相談、みそ汁の塩分濃度測定  
【持ち物】四十歳以上の方は健康手帳持参

## 布施健康相談

【日時】9月8日(木)午前  
9時30分から11時30分まで

## 乳児相談

【日時】9月13日(火)午後

1時30分から午後3時まで

【会場】公民館

【対象】一歳未満の方

【内容】身体測定、保健指導、栄養指導  
【持ち物】母子手帳

## 婦人科検診

【日時】9月17日(土)午前  
9時から11時30分まで受付  
【会場】公民館  
【対象】三十歳以上の女性  
【内容】子宮がん、乳がん検診、貧血検査

※保健事業についてのご相談は、町環境衛生課でお受けします。

# 敬老会は9月19日

## 浪曲・漫才などで慰労

町では、七十歳以上のお年寄りを招いて、老人福祉週間(九月十五日～二十一日)の九月十九日に、敬老会を開きます。

さらによる演芸会を計画。お年寄りのみなさんに楽しい一日を過ごしていただきたいと考えています。

### 【御宿町敬老会】

今年、祝い品の贈呈やボランティアの皆さんの演芸会に加え、浪曲師・広沢虎造さ

○開催日 9月19日(月)10時  
○会場 御宿町公民館  
○プログラム(予定)



【祝品贈呈】七十歳以上の方、結婚五十周年ご夫妻、健康老人、九十歳以上の方

【小学生の作文朗読】

【演芸会】第一部/保育園児、ボランティアの方。第二部/午後一時から、浪曲師・広沢虎造、漫才・マキノ洋一、初江

(町住民課)

## 健康ひと口メモ

### 9月はがん征圧月間



がんは日本人の死亡原因のトップとなっています。しかし、健康増進・疾病予防や早期発見・早期治療を行うことによって、がんによる死亡を防ぐことが可能です。

### お悔み

申し上げます

区名	死亡者	年齢
七月届	男二 女三	計五
須賀	三上 稲雄	76
浜	大谷 ちん	87
新町	伊藤 スエ	81
六軒町	岩上 和士	19
岩和田	市東 まつ	89

### 人口

8月1日現在

男 3,869 人  
女 4,234 人  
計 8,103 人

世帯数 2,487 世帯

発行責任者 滝口 栄蔵

編集 総務課広報係  
0470-68-2511